



# 北山田小だより



横浜市立北山田小学校  
校長 滝川 尚美

## 「交通事故を防ぐ」

～見守りボランティアや校外委員の皆様に支えられて～



校長 滝川 尚美

初夏の日差しに木々の緑が映える鮮やかな季節になりました。朝、正門を通る子どもたちは季節ごとにいろいろなものを手にして見せてくれます。桜の花びらだったり、タンポポの綿毛だったり。この時期は、ダンゴムシ。特に1,2年生は、小さな手にいっぱいのダンゴムシを握りしめて見せてくれます。小さく丸まって身を守るダンゴムシはいつの時代も子どもたちの人気者です。その後、子どもたちは、正門のわきにダンゴムシをそと逃がします。小さな生き物に興味をもつ心も、いのちを大切に思う気持ちもうれしいです。

さて、毎年この時期に、「春の全国交通安全運動」があります。5月から6月にかけて歩行中の児童の事故が増えること、その3分の1が登下校中の事故であることや自転車の事故は10歳から25歳までの若年層に多いこと等を踏まえ、「歩行者の安全の確保」や「横断歩行者事故等の防止と安全運転意識の向上」「自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守」を主な取組目標として進められています。

本校では、校外委員さんが学区の安全マップを作成し注意喚起してくださったり、登校時に子どもたちの見守りをしてくださったりしています。さらに、地域の有志の方々や自治会の方も子どもたちの登下校を見守ってくださっています。遊歩道があり安全な通学路もありますが、交通量の多い道路を渡ることもあります。毎朝、見守ってくださる地域の方々や校外委員の皆様のおかげで、「通学路である」というアピールができています。事故防止になっています。本当に皆様のご協力に感謝いたします。新しい学年での生活に慣れてきて、活動的になるこの時期、今一度交通安全について考えてみることは大切だと思います。

通学路を見守ってくださっている方々にその様子をうかがってみました。次にご紹介します。

### ○山田富士公園のそばの交差点に毎朝立ってくださっている鈴木様

この交差点は、遊歩道が切れるところにあるため、歩行者や自転車の飛び出しが多いです。朝や夕方は車も頻繁に通ります。地域にお住まいの方はこの横断歩道を子どもたちが渡ることをよく知っていらっしゃるので止まってくださる方も多いですが、横断前に一度止まって安全確認する意識も必要だと思います。

### ○西門付近、ヨークマート前の交差点で見守りをしてくださっている若林様

多くの車は止まってくれるが、そうでない車もあります。横断歩道を渡る際には必ず止まって安全確認してほしいです。特に川崎方面から来る車は、下り坂のカーブで、見通しが悪い上にスピードも出ていることも心配です。また、商業施設の前は駐車場から出てくる車と歩行者や自転車がぶつかる事故も多いです。

### ○遊歩道で見守ってくださっている工藤様

登校時に子どもたちが広がって歩いているとその後ろから来た自転車と接触しそうになることもあるので声をかけています。

そして、子どもたち自身も交通安全の意識を高めることが大事です。朝会でも次のことを話します。ご家庭でもお子様と通学路や遊びに行くときに通る道の安全について話題にしていだければと思います。

#### <横断歩道では>

- ①止まる **必ず止まります**
- ②見る  
よく見て確認
- ③まつ  
車やバイクが通り過ぎるまで

#### <自転車に乗るときは>

- ①ヘルメットをかぶります  
・13歳未満の子どもは、ヘルメットをかぶるように警察から言われています。
- ②子どもは、歩道を通ることができます  
・歩行者が優先です。じゃまになりそうなきときは、いったん止まります。